

海外時情

「デトロイト」市の拱上街路計畫に就て

輸送計畫の新機軸

デトロイト市高速交通調査會顧問技師

ダニエル、エル、ターナー

本杠上街路計畫は、近世都市に於ける運輸交通機關として最も斬新にして最も適切なる點に於ては確に一新機軸たるを失はない。即ち軌條に依る高速交通機關として極めて經濟的構造を有するのみならず現代的自動車交通道路として稱讚に値する。本計畫は幾分トツピの様であるが之に依ては平面交叉を絶體に避けて居るから急行自動車道路としては理想的のものであつて最大速度で連續的にドライブしても充分安全である特徴を有して居る。従て本杠上街路は將來の都市に於ける軌道並に自動車の高速度運轉を可能ならしむる主要交通幹線と爲るものであるに相違ない。

抑も本計畫は「デトロイト」市に於て高速鐵道計畫の際該調査委員會及技術部に依て考案されたものであつて世界第一

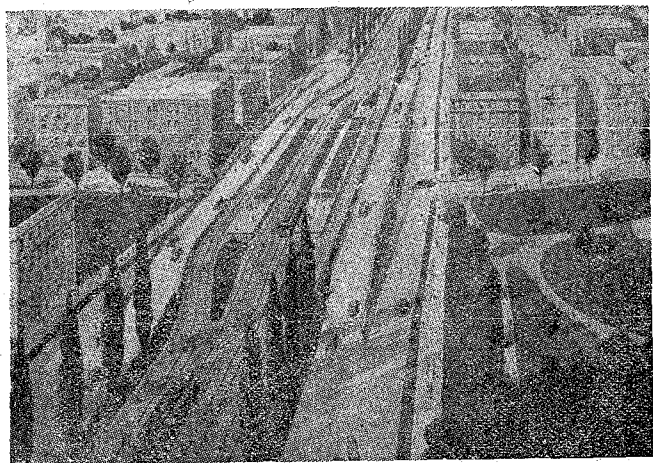
の自動車都市と云ふべき「デトロイト」市が現在の自動車利用者の爲め並に將來必然的に激増すべき自動車利用者の爲め適切にして用意周到なる先驅者たらんとする努力は買はねばならぬ。

尤も本杠上街路計畫は紐育市に於ける高速交通機關構造調査委員及び高速交通調査會の援助に依て記者が五六年前已に提案したる公園式高速交通計畫（之は已に一九二三年に「クインズボロー」公園式高速交通線として最初に範を示した）の進化したものと云える。

將來の高速交通機關の普及發達を圖るには種々考慮を要する點ありと雖も最も經濟的構造を考案して市民に特別課税を強要する事なく之が實現を努むること程急務のものはない事は異議のない所である。大體に於て地表式高速鐵道は路下式高速鐵道の五分一の費用にて足るを以て路下式一哩の建設費を以て能く地表式五哩の建設を完成し得るのである。

杠上街路に於ける自動車交通の價値は今日の高速鐵道の效果に比して決して遜色ありと云ひ難い。自動車の發明は比較的近代に屬すと雖も之が増加の趨勢は誠に驚く可きものがある。一九一三年には合衆國に於て百二十五萬臺を登録したが一九二三年には千五百萬臺に達し即ち十年間に十一倍の増加

を示してゐる。故に自動車は過去十年間に於て都市交通に一大革命を與えたと共に今日何れの都市に於ても直面する最も困難なる一大問題を與えたのである。街路に依る輸送能率の増進上あらゆる手段方法を調査研究して其の利用を全たからしむることは今日最も緊要の事項である。都市交通整理の一方法たる「進め停れ」の方法は最早高速度交通機關に對しては適當なるものと言ひ難い、自動車は一時間平均三十哩から四十哩の速力で驅ることは困難でない、と共に混雜せる場所では五哩乃至六哩の速力に下けることも容易である。「停れ、進め」の方式は交通の爲めに生ずる事故防止としては幾分の價値はあれども自動車の如き偉大の能力を有する交通機關をして街路輸送の能率増進上甚だ不充分なるを免れない、此の理由に依て將來の主要幹線道路は高速交通と云ふ點に就て充分の注意を拂はねばならぬ。



自動車をして鐵道の如き快速をささしめんとするには街路の交會等に基因する交通障害を除却するに非ざれば到底望み得れぬ事である。恰も高速鐵道が總ての平面交又を避けたる専用敷を必要とする如く高速自動車道路も亦同様に平面交又を避けねばならぬ。此の意味に於て本杠上街路計畫は理想的のものとして稱讚されて居る。

急行自動車専用道の最小幅は往復各々急行自動車用として二車線と除行自動車用として二車線とを備ふるか又は普通自動車用として全體で八車線を備ふれば充分である是は大體八十呎の幅員となる。急行車線と除行車線とは植樹帶等に依て區分する必要がある。之の植樹帶の幅として五呎を採り之を兩側に造るから全幅は九十呎となる。今之に十五呎宛の歩道を再側に設くれ

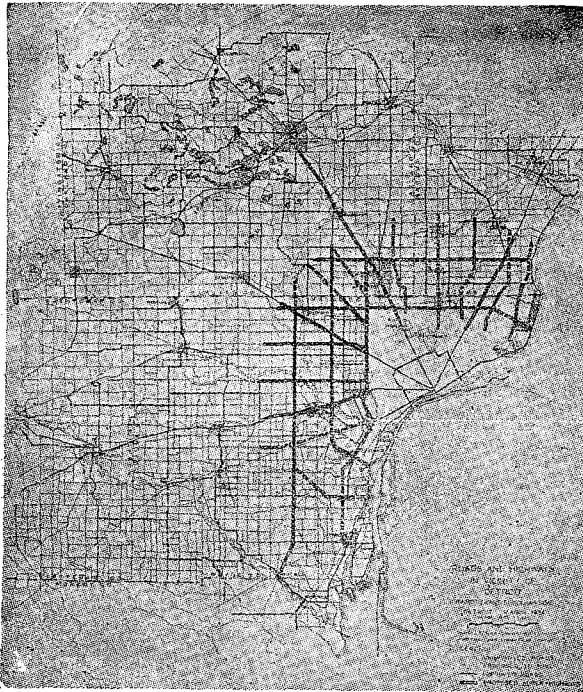
ば百二十呎の幅員となる是に尙高速鐵道の複々線敷地として八十四呎を加ふれば二百四呎となる。二百四呎幅の杠上街路

に於ては中央に高速鐵道敷を設け其の兩側に自動車道を設くるものであるが全幅が百二十呎の場合は高速鐵道は路下式として中央に敷設し其の上部に自動車道を設くるを通例とす。

て決して防害されぬ様に設計してある。如此杠上街路に於ては急行車線に依つて充分安全に最高速度を出し得るため、「停れ、進め」の舊式の整理法の場合に比し同じ幅員にて更に大なる輸送能力を發揮することが出来る。従て本計畫街路は普通の街路に比し其の輸送能力は毎に比して急行車なれば七倍普通車なれば三倍半位であると一般に信ぜられて居る。

次の圖面に示す如く本計畫

畫は總ての交通機關が此の杠上街路を利用する構造で即ち除行自動車も除行電車も高速鐵道も悉く地表を驅て居る。之に依て急行車の運轉は連續的とすることが出来る、車輛は交通の流れに沿い決して横過することなく、荷車の爲には決して高速鐵道又は急行自動車道と平面交又せしめず半哩毎に設けたる地下道に依て横過し得る設備を爲し歩行者の爲には尙數箇所に跨線橋又は地下道を設けて其の横過を安全にしてある半哩毎に設けたる停車場にては急行自動車道も高速鐵道線も全部杠上したる上架橋にて越し他の横過車輛に依



會は高速度交通機關委員の協力を得て單に「デトロイト」市のみならず將來の大「デトロイト」市を豫想して相當廣い

現在及將來の「デトロイト」市の利益のために本杠上街路の實施設計として圖面の如き計畫を提議されて居る、本計畫の内には都市計畫委員會「ウエーヌ」「オー克蘭」及び「マコブ」郡の道路委員

速鐵道線も全部杠上したる上架橋にて越し他の横過車輛に依

範圍に及ぼして居る。

本計畫は全體で二百二十五哩で其内譯は

ウエン郡

九九、九

オークランド郡

四〇、六

マコブ郡

三七、九

デトロイト市

四六、七

本杠上街路の構造は漸次改良される方針で初めは路面の一部のみ舗装したのであるが交通量の増加に従て漸次舗装幅を

増大し追ては急行車線の必要を感ずるに至れば停車場の所で高低交叉と改むるのである。故に構造に關する問題は後日に譲るとして先づ最初に大切の事は本計畫に要する敷地を沿道に家屋の建設せられぬ前に買収することである。此の目的のために新法律が立案せられ、國の立法部に於て調査されて居るのであるが此の法律の如何が本計畫の實現に重大の關係を有するものと信ずる。

悪路の用途

「世の中に廢り物はない」とは流石によく言ふてある、悪路！ といへば誰でもしかめつ面をするのだが悪路も悪路、天下第一の悪路なるの故を以てチャンと國家の御用に立つてゐる府縣道があるから妙だ。處は千葉縣習志野の近傍、路面のひどい事とても東京などとは比ではない、だから此の道を通る馬車曳達はみんな長い柄杓一本と鍬一丁とを必ず携帯してゐる、それは此の道には車輪堀れなどといふよりは小沼といふ方が適當な位の大きな水溜が處々にある、馬車曳がそんな處にさしかると先づ柄杓でもつて其の水を排出し次に鍬をふるつて其の穴を埋めた上やう／＼のことで其處を通過せればならぬからである、つまり一人一人が道路修繕工事を執行しながら辛うじて車を進めるといふわけである。歩くにしても路上を正々堂々と歩くよりも路肩を歩いたり路傍の私有地に侵入したりして歩く方が餘程樂である、路傍の地が林地や原野である處では道路區域外に細い小徑が出来てゐて歩行者は大に此の小徑を通る、まあ道外の道とでもいふべきものだらう、自轉車で走るにしても此の道外の道を通る方が樂である、尤も下手な自轉車乗では府縣道上を走らうと道外の道を通らうと一丁も走らぬ内にスツテンコロッドブーンと馬車曳の埋め残した水溜の中へ落ちこむに違ひない、砂利などといふものは一粒も見當らぬ、路床から固めてかゝらなければ砂利を入れても直ぐ沈下してしまふので縣でもほと／＼持て餘してゐるといふことだ、悪路もこゝまで來ると徹底的だ、ところがその徹底的悪路といふ所に眼を着けたのが陸軍の兵隊さんだ、年に數回宛悪路行軍の演習用に供し給ふといふ、なるほど悪路ならでは役立たぬ用途だ、誠に名譽なことだ、世の中に廢り物はない哩。(論鳳生)